

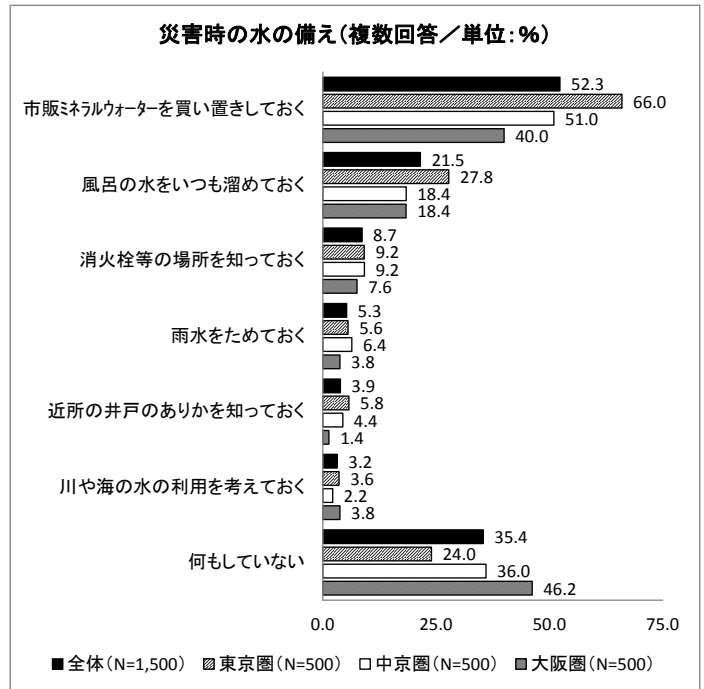
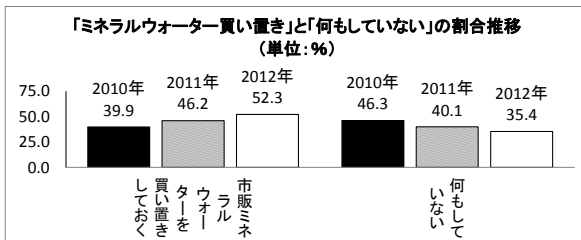
Q.災害時の水の備えは？（6択＋何もしていない）

◇ミネラルウォーターの買い置きは東高西低！？東京圏では3人に2人

◇“備えなし”は減少傾向

「地震などの災害時に対する普段の水の備え」を聞いたところ、全体の半数以上（52.3%）が「ミネラルウォーターを買い置きしておく」と回答しました。特に東京圏では3人に2人（66.0%）と高く、中京圏51.0%、大阪圏40.0%と、西側に行くほど「買い置き」率は低くなるという東高西低の傾向が見られました。

一方、「何もしていない」は35.4%で、一昨年（46.3%）、昨年（40.1%）から減少傾向にあります。また、居住地別では、東京圏24.0%、中京圏36.0%、大阪圏46.2%と、こちらは西高東低でした。



日常の水意識／東京・大阪・中京圏

Q.水の使い方は？（4択）

◇約6割は節水を意識も、若干低下の傾向

◇20代男性の約3割は「気にせずに使っている」

「家庭での水の使い方」について聞いたところ、「節水している（「多少節水」＋「かなり節水」）」は60.6%で昨年（62.4%）から微減、「気にせず使っている」と「気にしながらも何もせず」の合計が39.4%で昨年（37.6%）より微増と、大きな変化ではないものの、節水意識に若干低下の傾向が見られました。このところの関心事は、節水より節電なのかもしれません。

性別・年代別で見ると、「気にせず使っている」＋「気にしながらも何もせず」で男性48.4%、女性は30.3%と、18.1ポイントの差があったほか、20代男性は「気にせず使っている」が28.0%で断然のトップでした。

